

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
近松徳叟が伝	実説	西沢一鳳		『西沢文庫伝奇作書』		天保14年～嘉永4年成立 『新群書類従』第一、演劇（明治39年4月、 国書刊行会）に翻刻。昭和51年12月、第一 書房より復刻。
猿若座略評 [明治13・7猿若座]	寄書	六二連 高須高燕・ 吉野藤亀		歌舞伎新報	第九十二・九十 三号	明治13年8月歌舞伎新報社
猿若座略評 [明治13・7猿若座]	寄書	六二連 高須高燕・ 吉野藤亀		『六二連 俳優評判記 歌 舞伎新報編 上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書・10」
二番目狂言 千種花音頭新唄 新富座 報	筋書			歌舞伎新報	第三百五十一～ 三百六十号	明治16年10～11月 歌舞伎新報社
[明治16・10新富座]	雑報			歌舞伎新報	第三百五十六～ 三百五十九号	明治16年10～11月 歌舞伎新報社
桐座略評 [明治18・7桐座]	劇評	六二連 高素薫・ 高須高燕		歌舞伎新報	第五百六十九～ 五百七十一号	明治18年7～8月歌舞伎新報社
桐座略評 [明治18・7桐座]	劇評	六二連 高素薫・ 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌 舞伎新報編 上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書・10」
[明治20・6市村座]	雑報			歌舞伎新報	第七百九十一～ 七百九十三号	明治20年6月 歌舞伎新報社
新富座桐座略評 [明治22・6桐座]	劇評	六二連 高須高燕・ 田村安山		歌舞伎新報	第千二十八号	明治22年7月 歌舞伎新報社
新富座桐座略評 [明治22・6桐座]	劇評	六二連 高須高燕・ 田村安山		『六二連 俳優評判記 歌 舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書・10」
芝居の鼠 [明治24・8仙台座]	芸談	清潭生	尾上梅助	歌舞伎（第一次）	第29号	明治35年10月 歌舞伎発行所
伊勢音頭恋寝刃 二番目読切 明治座 興行	筋書			歌舞伎新報	第千六百四十四 号	明治29年6月 玄鹿館
明治座の景況	雑報			歌舞伎新報	第千六百四十五 号	明治29年6月 玄鹿館
坂東秀調文 [明治29・7明治座]	劇評	高須高燕		歌舞伎新報	第千六百四十六 号	明治29年7月 玄鹿館
坂東秀調文 [明治29・7明治座]	劇評	高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌 舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書・10」

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
梅寿の形	評伝	かな井安善	貢（《3》尾上菊五郎）	歌舞伎（第一次）	第12号	明治34年5月 歌舞伎発行所
有線無線 九 [明治34・7歌舞伎座]	演出	娑婆の花水庵・ 冥府の伊井蓉峰	貢（《5》尾上菊五郎） お紺（《5》中村芝翫）	演芸画報	昭和11・10	演芸画報社
伊勢音頭の芝居	解説	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
惣髪の貢・青額の貢	型		貢（《5》尾上菊五郎）	歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
月僊の請書と古市の油屋	実説	久保田米僊／談話 白井真如／筆記		歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
伊勢音頭の実録	実説	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
七月歌舞伎座合評 [明治34・7歌舞伎座]	劇評	三木竹二・ 伊原青々園・ 鏑木清方・ 西田董坡・ 鈴木春浦・ 右田寅彦・ 永井素岳・ 條野採菊		歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
菊五郎の幸内と貢	型	鏑木清方		歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
歌舞伎座七月狂言の鬘と衣裳	型	鈴木春浦		歌舞伎（第一次）	第15号	明治34年8月 歌舞伎発行所
おもかげ帖（其二）「伊勢音頭」 [明治34・7歌舞伎座]	型	鏑木清方	貢（《5》尾上菊五郎） お紺（《5》中村芝翫）	歌舞伎（第一次）	第97号	明治41年8月 歌舞伎発行所
鬘と衣裳 [明治34・7歌舞伎座]	型	鈴木春浦	貢（《5》尾上菊五郎） お紺（《5》中村芝翫）	『歌舞伎の型』		昭和2年10月 歌舞伎出版部／宝文館（発売）
お紺の墓に就て	実説	董坡老人		歌舞伎（第一次）	第16号	明治34年9月 歌舞伎発行所
伊勢音頭実記	実説	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第16号	明治34年9月 歌舞伎発行所
鬼丸の貢 [明治39・9宮戸座]	劇評	匏村		歌舞伎（第一次）	第18号	明治34年10月 歌舞伎発行所
七月の劇壇 [明治40・7東京座]	劇評			歌舞伎（第一次）	第88号	明治40年8月 歌舞伎発行所
七月の劇壇 [明治40・7市村座]	劇評			歌舞伎（第一次）	第88号	明治40年8月 歌舞伎発行所
劇壇風聞記	雑報	一記者		歌舞伎（第一次）	第97号	明治41年8月 歌舞伎発行所
初代中村歌六	評伝	鈴木春浦	貢伯母（《1》中村歌六）	歌舞伎（第一次）	第101号	明治41年12月 歌舞伎発行所
番付と俳優と	随筆	鳥居清忠		歌舞伎（第一次）	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
私の見た芝居 [明治42・5市村座]	劇評	芹影女		歌舞伎（第一次）	第115号	明治43年2月 歌舞伎発行所
私の役々	芸談		《11》片岡仁左衛門	歌舞伎（第一次）	第107号	明治42年6月 歌舞伎発行所
祐天とお紺	芸談		《1》沢村宗之助	歌舞伎（第一次）	第107号	明治42年6月 歌舞伎発行所
貢について	考証	西田董坡		歌舞伎（第一次）	第108号	明治42年7月 歌舞伎発行所
私の福岡貢	芸談		《4》片岡我童	歌舞伎（第一次）	第109号	明治42年8月 歌舞伎発行所
芝居興行者としての三十年間（十三）	興行記録	田村成義		歌舞伎（第一次）	第111号	明治42年10月 歌舞伎発行所
お岩とお紺	芸談		《6》尾上梅幸	歌舞伎（第一次）	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
伊右衛門と宗盛	芸談		《8》市川高麗蔵	歌舞伎（第一次）	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
東京座合評 [明治42・10東京座]	劇評	伊原青々園・ 伊坂梅雪		歌舞伎（第一次）	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
自分の演じた物	芸談		《6》尾上梅幸	歌舞伎（第一次）	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
私の見た芝居 [明治42・10東京座]	劇評	芹影女		歌舞伎（第一次）	第115号	明治43年2月 歌舞伎発行所
油屋九人斬の写生文	考証	伊原青々園		歌舞伎（第一次）	第120号	明治43年6月 歌舞伎発行所
仙台の梅幸劇の印象 [明治43・8仙台]	劇評	草野柴二		歌舞伎（第一次）	第124号	明治43年10月 歌舞伎発行所
北海道より	雑報	よしを		歌舞伎（第一次）	第128号	明治44年2月 歌舞伎発行所
舞台ノート・本郷座の「油店」	印象記	此頃草		演芸画報	大正2・7	演芸画報社
伊勢音頭恋寝刃 [大正2・6本郷座]	見たまま	鈍太郎	貢（《1》実川延二郎） お紺（《3》坂東秀調）	演芸画報	大正2・7	演芸画報社
六月の本郷座 [大正2・6本郷座]	劇評	小宮豊隆		演芸画報	大正2・7	演芸画報社
本郷座所感 [大正2・6本郷座]	劇評	前田芳柳		歌舞伎（第一次）	第157号	大正2年7月 歌舞伎発行所
今月の本郷座 [大正2・6本郷座]	劇評	伊原青々園		歌舞伎（第一次）	第157号	大正2年7月 歌舞伎発行所
長唄の心得・続〔伊勢音頭〕	解説	杵屋老人		演芸画報	大正4・4	演芸倶楽部
孫福貢おこん・油屋騒動考〔上〕	実説	伊坂梅雪		演芸画報	大正4・8	演芸倶楽部
孫福貢おこん・油屋騒動考〔下〕	実説	伊坂梅雪		演芸画報	大正4・9	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」研究 伊勢音頭恋寝刃に就て	鑑賞	せいせつ		演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」研究 私の福岡貢	芸談		《1》中村鴈治郎	演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「伊勢音頭恋寝刃」研究 能い貢をまだ見ません	鑑賞	竹の屋主人		演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」研究 貢の十人斬り	鑑賞	谷崎潤一郎		演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」研究 お紺さんの心持	鑑賞	芹影女		演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」研究 伊勢音頭「油屋」に就て	芸談		竹本春子太夫	演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」研究 「伊勢音頭恋寝刃」の舞台	鑑賞	小山内薫		演芸画報	大正5・10	演芸倶楽部
南座の伊勢音頭・中座の菅原 [大正5・9京都南座]	見たまま	香取染之助	貢（《1》中村鴈治郎） お紺（《4》中村福助）	新演芸	大正5・10	玄文社
伊勢音頭 [下座の話]	演出			演芸画報	大正6・7	演芸倶楽部
「牧の方」その他 [大正6・7歌舞伎座]	劇評	金沢新		演芸画報	大正6・8	演芸倶楽部
羽左衛門の貢と初世又五郎の貢と [大正6・7歌舞伎座・公園劇場]	劇評	京右衛門		演芸画報	大正6・8	演芸倶楽部
「伊勢音頭恋寝刃」と技巧の役者 [大正6・7歌舞伎座]	劇評	しげる		演芸画報	大正6・8	演芸倶楽部
楽屋風呂	芸談	川尻清潭	《15》市村羽左衛門・ 《5》中村歌右衛門・ 大谷竹次郎	新演芸	大正6・8	玄文社
歌舞伎座の盆芝居 [大正6・7歌舞伎座]	劇評	鬼太郎		新演芸	大正6・8	玄文社
伊勢音頭スケッチ	鑑賞	佐藤三重三		新演芸	大正6・8	玄文社
鴈治郎の工夫話 浪花座の部屋から	芸談	小夜格子	《1》中村鴈治郎・ 《3》中村雀右衛門	新演芸	大正8・11	玄文社
帝国劇場の「伊勢音頭」合評 [大正9・6帝国劇場]	劇評	川尻清潭・ 遠藤為春		演芸画報	大正9・7	演芸倶楽部
伊勢音頭恋寝刃 [大正9・6帝国劇場]	見たまま	煙の人	貢（《15》市村羽左衛門） お紺（《6》尾上梅幸）	演芸画報	大正9・7	演芸倶楽部
夏狂言六種の五 伊勢音頭恋寝刃	鑑賞	宇野四郎		新演芸	大正9・7	玄文社
夏狂言十種 「伊勢音頭恋寝刃」おこん貢	鑑賞	大村嘉代子		演芸画報	大正13・6	演芸画報社
帝国劇場の「伊勢音頭恋寝刃」 「伊勢音頭」に就いて [大正14・9帝国劇場]	劇評	伊原青々園		演芸画報	大正14・10	演芸画報社
帝国劇場の「伊勢音頭恋寝刃」 伊勢音頭のこと	芸談		《13》守田勘弥	演芸画報	大正14・10	演芸画報社
芸苑百話 四	芸談	《4》沢村源之助	貢（《5》尾上菊五郎）	演芸画報	昭和2・1	演芸画報社
鴈治郎の巻 七 伊勢音頭恋寝刃 [昭和3・6大阪中座]	見たまま	山上貞一	貢（《1》中村鴈治郎） お紺（《4》中村福助）	『芝居見たまゝ二十五番集』		昭和4年10月 創元社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「身不肖なれども福岡貢」	鑑賞	石割松太郎		道頓堀	昭和3・6	松竹舎名社
伊勢音頭雑話	鑑賞	高谷伸		道頓堀	昭和3・6	松竹舎名社
「伊勢音頭」問答	鑑賞	高原慶三		道頓堀	昭和3・6	松竹舎名社
伊勢音頭思ひ出いろいろ	鑑賞	久保田泰次郎		道頓堀	昭和3・6	松竹舎名社
芝居物語 伊勢音頭	鑑賞	清水三重三・岡田八千代		婦人倶楽部	昭和3・6	大日本雄弁講談社
実説とお芝居 伊勢音頭に就て	実説	伊坂梅雪		演芸画報	昭和3・8	演芸画報社
歌舞伎座の印象 〔昭和4・7歌舞伎座〕	劇評	室積徂春		演芸画報	昭和4・8	演芸画報社
二見ヶ浦	鑑賞	林次忠		『舞台と史蹟』		昭和5年3月 朝日新聞社
歌舞伎と新歌舞伎 〔昭和5・7新歌舞伎座〕	劇評	山崎紫紅		演芸画報	昭和5・8	演芸画報社
田舎源氏と油屋 〔昭和8・6歌舞伎座〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和8・7	演芸画報社
東雲と万野	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	昭和8・7	演芸画報社
肩の凝る油屋〔貢〕	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和8・7	演芸画報社
掛持ちの三役〔お紺〕	芸談		《7》沢村宗十郎	演芸画報	昭和8・7	演芸画報社
歌舞伎往来 伊勢音頭と五大力	鑑賞	伊原青々園		演芸画報	昭和10・8	演芸画報社
第一劇場役者評判記 〔昭和11・9新宿第一劇場〕	劇評	今谷久平／頭取		演芸画報	昭和11・10	演芸画報社
浪花座の東西合同若手歌舞伎 〔昭和11・9浪花座〕	劇評	食満南北		演芸画報	昭和11・10	演芸画報社
我当の貢と福助のかさね 〔昭和11・9新宿第一劇場〕	劇評	三宅三郎		『歌舞伎劇鑑賞 続』		昭和18年4月 三田文学出版部
九月芝居稽古場めぐり 〔昭和11・9新宿第一劇場〕	印象記	司見子		演芸画報	昭和11・10	演芸画報社
お紺の愛想尽かし	芸談	木村富子	《4》沢村源之助	『花影流水』		昭和12年4月 中央演劇社
本質的に歌舞伎を観る手引 五 上方の世話狂言	鑑賞	渥美清太郎		演芸画報	昭和13・5	演芸画報社
油屋騒動雑記	実説	井上頼寿		上方	昭和14・10	創元社
九月の大阪劇壇 〔昭和15・9大阪大阪歌舞伎座〕	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和15・10	演芸画報社
”伊勢音頭”二人斬〔貢〕	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和16・6	演芸画報社
「伊勢音頭」のはなし	鑑賞	渥美清太郎		演芸画報	昭和16・6	演芸画報社
歌舞伎座の楽屋で〔貢〕	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和16・7	演芸画報社
羽左衛門と梅玉 〔昭和17・7帝国劇場〕	劇評	岡田八千代		演芸画報	昭和17・8	演芸画報社
羽左初出演の帝劇 〔昭和17・7帝国劇場〕	劇評	三宅三郎		『歌舞伎劇鑑賞 続』		昭和18年4月 三田文学出版部
福岡貢十人斬	実説	坂本箕山		『戯曲と史実』		昭和18年9月 日比谷出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
お紺の仕科	芸談	川尻清潭	《6》尾上梅幸	『女形の事』		昭和19年6月 主婦之友社
伊勢音頭恋寝刃（古典鑑賞）	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和19・7	日本演劇社
名舞台こぼれ噺第34回 忘れられない『伊勢音頭』 [昭和20・8京都南座]	鑑賞	小山観翁		演劇界	平成26・5	演劇出版社
「瑠璃燈」／肩の凝る「縁切り」場 ／「伊勢音頭」の型／お紺とお鹿の 衣裳	芸談	山口廣一	《2》実川延若	『延若芸話』		昭和21年11月 誠光社
「夏祭」と「伊勢音頭」 [昭和22・7三越劇場]	鑑賞 劇評	井上甚之助		幕間	昭和22・8	和敬書店
東京都劇場だより [昭和22・7三越劇場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・8	和敬書店
鼎談関西歌舞伎を語る 東京者の見た大坂歌舞伎	劇評	渥美清太郎・ 利倉幸一・ 戸板康二		演劇界	昭和22・11	日本演劇社
歌舞伎鑑賞教室 伊勢音頭恋寝刃 相の山と太々講	解説	渥美清太郎		演劇界	昭和23・7	日本演劇社
歌舞伎鑑賞教室 伊勢音頭恋寝刃 油屋	解説	戸板康二		演劇界	昭和23・7	日本演劇社
東京劇場観劇メモ [昭和23・7東京劇場]	劇評	利倉幸一		幕間	昭和23・8	和敬書店
菊五郎の伊勢音頭（二見ヶ浦と油屋 の型）	型	川尻清潭		演劇研究	第1号	昭和23年9月 和敬書店
伊勢音頭恋寝刃 合評会 [昭和23・7東京劇場]	研究 劇評	折口信夫・ 久保田万太郎・ 利倉幸一・ 池田弥三郎・ 戸板康二・ 戸部銀作・ 関逸雄		演劇研究	第1号	昭和23年9月 和敬書店
鷹治郎さんの貢／菊次郎さんのお紺 ／みんしさんのお鹿／吉三郎さんの 万野	芸談	山口廣一	《3》中村梅玉	『梅玉芸談』		昭和24年2月 誠光社
伊勢音頭	芸談	井上甚之助	《7》坂東三津五郎	『三津五郎芸談』		昭和24年7月 和敬書店
佳作・鷹の「伊勢音頭」 [昭和24・8名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和24・9	和敬書店
帝劇の狂言座 [昭和24・9帝国劇場]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和24・10	日本演劇社
収穫は「六段目」 [昭和24・9帝国劇場]	劇評	大木豊		幕間	昭和24・10	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
九月大坂の二座評判記 [昭和24・9大阪中座]	劇評	井上甚之助		幕間	昭和24・10	和敬書店
紙上舞台 伊勢音頭恋寝刃 上・下	鑑賞	山口廣一		幕間	昭和25・8~9	和敬書店
私の芸談 「貢」と先代羽左衛門	芸談		《3》市川寿海	幕間	昭和25・10	和敬書店
歌舞伎座の追善公演 [昭和25・9大阪大阪歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和25・10	和敬書店
「少将滋幹の母」ほか [昭和26・6大阪大阪歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		幕間	昭和26・7	和敬書店
「乞食大将」その他 [昭和26・9明治座]	劇評	大木豊		演劇界	昭和26・10	演劇新社
幕間随想 貢の難かしさ	芸談		《9》市川海老蔵	幕間	昭和26・10	和敬書店
明治座を見ていて [昭和26・9明治座]	劇評	浜村米蔵		幕間	昭和26・10	和敬書店
左団次を偲ぶ [昭和27・2京都南座]	劇評	桂田重治		演劇界	昭和27・3	演劇新社
北條氏の新作 [昭和27・7歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和27・8	演劇新社
菊五郎劇団と海老蔵 [昭和27・7名古屋御園座]	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和27・8	演劇新社
紙上舞台 伊勢音頭恋寝刃	鑑賞	戸部銀作		幕間	昭和27・8	和敬書店
東西合同歌舞伎 [昭和27・7歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和27・8	和敬書店
「狐と笛吹き」その他 [昭和27・7歌舞伎座]	劇評	大木豊		劇評	昭和27・8	歌舞伎堂第一書店
伊勢音頭 舞台鑑賞	鑑賞	山本二郎		劇評	昭和27・8	歌舞伎堂第一書店
御園座菊五郎劇団公演 [昭和27・7名古屋御園座]	劇評	大鋸時生		劇評	昭和27・8	歌舞伎堂第一書店
『楊貴妃』と雁のたより [昭和28・7大阪中座]	劇評	升屋治三郎		演劇界	昭和28・8	演劇出版社
幕間随想 平凡な楽屋ばなし	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和28・8	和敬書店
舞台鑑賞手引 「伊勢音頭」雑俎	鑑賞	加賀山直三		幕間	昭和28・8	和敬書店
歌舞伎読本 伊勢音頭恋寝刃	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和29・9	演劇出版社
ひろいもの「伊勢音頭」 [昭和29・8歌舞伎座]	劇評	青江舜二郎		演劇界	昭和29・9	演劇出版社
幕間随想 原作に近い「天網島」	芸談		《2》中村鴈治郎	幕間	昭和29・9	和敬書店
幕間随想 お鹿の性根	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和29・9	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
若手活躍す [昭和30・7東横ホール]	劇評	本地盈輝		演劇界	昭和30・8	演劇出版社
幕間随想 複雑な貢の性根	芸談		《4》河原崎権三郎	幕間	昭和30・8	和敬書店
幕間随想 お紺の苦しみ	芸談		《2》大川橋蔵	幕間	昭和30・8	和敬書店
わるくない古劇気分 [昭和30・7東横ホール]	劇評	大木豊		幕間	昭和30・8	和敬書店
責任者は誰か [昭和30・8大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和30・9	演劇出版社
幕間随想 二番目ものの特性	芸談		《3》市川寿海	幕間	昭和30・9	和敬書店
幕間随想 万野は貢本位の役	芸談		《6》坂東義助	幕間	昭和30・9	和敬書店
幕間随想 大道具の功績	芸談		《4》中村富十郎	幕間	昭和30・9	和敬書店
鷹治郎と扇雀 [昭和31・1大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和31・2	演劇出版社
幕間随想 久しぶりの歌舞伎	芸談		《2》中村扇雀	幕間	昭和31・2	和敬書店
関西歌舞伎豊作 [昭和31・1大阪大阪歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和31・2	和敬書店
市川左団次 伊勢音頭の貢	型	三宅三郎	《3》市川左団次・ 《6》尾上菊五郎・ 《1》中村吉右衛門	『かぶきを見る眼』		昭和31年9月 新潮社
夏芝居の感覚	鑑賞 型	加賀山直三	貢（《6》尾上菊五郎） お紺（《7》尾上梅幸）	『歌舞伎の視角 十六種の 狂言鑑賞を通して』		昭和31年10月 角川書店 『歌舞伎』昭和43年1月、雄山閣出版に所収。
夏芝居の感覚	鑑賞 型	加賀山直三		『歌舞伎』		昭和43年1月 雄山閣出版
十人斬の貢とお紺	型	川尻清潭		『演技の伝承』		昭和31年12月 演劇出版社
時蔵四つの出し物 [昭和32・6東横ホール]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和32・7	演劇出版社
幕間随想 東横ホールで	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和32・7	和敬書店
幕間随想 間の難しさ	芸談		《6》中村芝雀	幕間	昭和32・7	和敬書店
幕間随想 宅兵衛の復活	芸談		《9》市川八百蔵	幕間	昭和32・7	和敬書店
舞台おぼえ書 時蔵の福岡貢を中心に	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和32・8	演劇出版社
誠実な寿海と歌右衛門 [昭和33・6京都南座]	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和33・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
幕間随想 万野の気持	芸談		《14》守田勘弥	幕間	昭和33・7	和敬書店
伊勢音頭	鑑賞	戸板康二		『卓上舞台』		昭和34年4月 村山書店
花梢会東上公演 [昭和34・5明治座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和34・6	演劇出版社
幕間随想 困りつづけ	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和34・6	和敬書店
幕間随想 改訂「紀州道成寺」	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和34・6	和敬書店
一級品の実盛 [昭和35・4名古屋御園座]	劇評	藤野義雄		演劇界	昭和35・5	演劇出版社
伝統を伝える歌舞伎教室 [昭和35・6歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和35・7	演劇出版社
伊勢音頭恋寝刃	解説	菊池明		『演劇百科大事典』第一 巻		昭和35年9月 平凡社
脚本のアレンジと演出の整理を [昭和37・7歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和37・8	演劇出版社
歪曲された『妹背山』復活 [昭和37・9読売ホール]	劇評	藤田洋		演劇界	昭和37・10	演劇出版社
「足」で勝った仁左衛門 [昭和39・7道頓堀朝日座]	劇評	三宅周太郎		演劇界	昭和39・9	演劇出版社
上方の水の味 [昭和41・6東横ホール]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和41・7	演劇出版社
夜の部の三津五郎追善 [昭和42・7歌舞伎座]	劇評	郡司正勝		演劇界	昭和42・8	演劇出版社
油屋の刃傷事件	実説	井村かね		『わが生涯の記 伊勢古市 こぼれ話』		昭和43年10月 謙光社
新しい旗手たれ [昭和44・5歌舞伎座]	劇評	利根川裕		演劇界	昭和44・6	演劇出版社
若手の自主公演 [昭和44・8道頓堀朝日座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和44・9	演劇出版社
私の役づくり〔福岡貢〕	芸談		《2》中村鴈治郎	演劇界	昭和45・7	演劇出版社
私の役づくり〔油屋お紺〕	芸談		《7》中村芝翫	演劇界	昭和45・7	演劇出版社
私の役づくり〔仲居万野〕	芸談		《6》中村歌右衛門	演劇界	昭和45・7	演劇出版社
私の役づくり〔油屋お鹿〕	芸談		《5》沢村訥升	演劇界	昭和45・7	演劇出版社
私の役づくり〔料理人喜助〕	芸談		《3》実川延若	演劇界	昭和45・7	演劇出版社
歌舞伎の変身術 [昭和45・6歌舞伎座]	劇評	廣末保		演劇界	昭和45・7	演劇出版社
歌舞伎名作選 『伊勢音頭』 演出の妙味で見せる芝居	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和46・8	演劇出版社
私の古典鑑賞 油屋	鑑賞	渡辺保		演劇界	昭和48・8	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「上方歌舞伎」二人の旗手 [昭和50・6大阪中座]	劇評	長谷川幸延		演劇界	昭和50・7	演劇出版社
役者の顔 [昭和51・9歌舞伎座]	劇評	利根川裕		演劇界	昭和51・10	演劇出版社
新旧交替期の「団菊祭」 [昭和53・5歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和53・6	演劇出版社
歌舞伎狂言の鑑賞 伊勢音頭恋寝刃	鑑賞	藤井康雄		演劇界	昭和53・6	演劇出版社
爽やかな後味 [昭和53・6中日劇場]	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和53・7	演劇出版社
役の“風”と“芸” [昭和55・5歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	昭和55・6	演劇出版社
江戸と上方の対照 [昭和55・9京都南座]	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和55・11	演劇出版社
名古屋の顔見世 [昭和56・10名古屋御園座]	劇評	鷺見房子		演劇界	昭和56・11	演劇出版社
伊勢音頭恋寝刃	芸談 鑑賞		《13》片岡仁左衛門	『夏祭と伊勢音頭』		昭和58年11月 向陽書房
伊勢音頭恋寝刃	解説	原道生		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
面白さも中位の昼の部 [昭和59・9歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和59・10	演劇出版社
仁左衛門型の「伊勢音頭」 六月中座上演の前に	鑑賞	藤井康雄	貢（《13》片岡仁左衛門）	演劇界	昭和62・6	演劇出版社
松島屋一家の共演 [昭和62・6大阪中座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和62・7	演劇出版社
芸談で綴る狂言鑑賞 伊勢音頭恋寝刃 油屋	鑑賞	石橋健一郎		演劇界	平成1・6	演劇出版社
ベテラン・花形・若手 [平成1・6新橋演舞場]	劇評	如月青子		演劇界	平成1・7	演劇出版社
二役が示す団十郎の芸と人柄 [平成2・9歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	平成2・10	演劇出版社
爽やかさと熱気の舞台 [平成2・10名古屋御園座]	劇評	大内美予子		演劇界	平成2・11	演劇出版社
『伊勢音頭恋寝刃』 伊勢音頭 演出の妙味で見せる芝居	鑑賞	志野葉太郎		『歌舞伎 型の伝承』		平成3年11月 演劇出版社
初演の三役揃い踏み [平成4・4歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	平成4・5	演劇出版社
小じんまりした襲名公演 [平成4・10名古屋御園座]	劇評	野村喬		演劇界	平成4・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
『波の鼓』で孝夫復帰 [平成6・7大阪中座]	劇評	廓正子		演劇界	平成6・8	演劇出版社
面白い『御浜御殿綱豊卿』 [平成7・6歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成7・7	演劇出版社
歌舞伎の作品 四 伊勢音頭恋寝刃	解説	三浦広子		『講座日本の演劇 第四巻 近世の演劇』		平成7年8月 勉誠社
仁左衛門のピントコナ [平成10・5大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成10・6	演劇出版社
今月この舞台 夏祭浪花鑑と伊勢音頭恋寝刃	鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成11・6	演劇出版社
揺るぎない芸境の雀右衛門 [平成11・6歌舞伎座]	劇評	福本和生		演劇界	平成11・7	演劇出版社
初役揃いが話題の団菊祭 [平成13・5歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成13・7	演劇出版社
彼の場合の事件のきっかけ 血の中に宿す宿命とひとつの選択 伊勢音頭恋寝刃 福岡貢	鑑賞	岡野竹時		演劇界	平成14・9	演劇出版社
世話狂言遊里案内7 伊勢古市 伊勢音頭恋寝刃	鑑賞	大岩精二		演劇界	平成14・9	演劇出版社
いま、海老蔵が誕生した [平成16・5歌舞伎座]	劇評	利根川裕		演劇界	平成16・7	演劇出版社
「油屋」の貢	型	渡辺保	《5》尾上菊五郎・ 《11》片岡仁左衛門・ 《1》中村鴈治郎・ 《2》実川延若	『歌舞伎 型の魅力』		平成16年8月 角川書店
熱気に溢れた納涼歌舞伎 [平成17・8歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成17・11	演劇出版社
福岡貢／藍玉屋北六／今田万次郎／ お岸／お紺／お鹿／お杉お玉／喜助 ／桑原丈四郎／猿田彦太夫／正直正 太夫／杉山大蔵／徳島岩次／藤浪左 膳／万野／林平	解説	金子健		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
追善それぞれに [平成18・4歌舞伎座]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成18・6	演劇出版社
家の芸と新作歌舞伎への挑戦 [平成18・4大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成18・6	演劇出版社
狂気と理性 [平成20・11新橋演舞場]	劇評	長谷部浩		演劇界	平成21・1	演劇出版社
伊勢音頭恋寝刃／伊勢音頭恋寝刃	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 上』		平成20年12月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書・11」
爽やか、仁左衛門 [平成23・7大阪松竹座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成23・9	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
伊勢音頭恋寝刃	解説	清水可子		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・児玉竜一／編集 富澤慶秀・藤田洋／監修
歌舞伎名作案内 第十七回 伊勢音頭恋寝刃 上方歌舞伎のロングセラー	鑑賞	吉田弥生		演劇界	平成24・8	演劇出版社
洗い上げた「四の切」 [平成24・10名古屋御園座]	劇評	安住恭子		演劇界	平成24・12	演劇出版社
小道具ものがたり 『伊勢音頭恋寝刃』 福岡貢の刀“青江下坂”	鑑賞	湯川弘明		演劇界	平成26・8	演劇出版社
十七世、十八世勘三郎追善 [平成26・10歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成26・12	演劇出版社
アンサンブルで紡ぐ充実の舞台 [平成26・10名古屋顔見世]	劇評	安住恭子		演劇界	平成26・12	演劇出版社
劇場空間の魅力がいきる [平成27・4香川金丸座]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成27・7	演劇出版社
『伊勢音頭』と”太々講”	演出	山田庄一		国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
貢たちさまざま	鑑賞	上村以和於		国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
江戸時代の伊勢参宮と御師	鑑賞	塚本明		国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
伊勢音頭の流行のしくみ 参宮・メディア・芝居	鑑賞	濱千代早由美		国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
名所伊勢案内	鑑賞			国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
資料展示室 『伊勢音頭恋寝刃』と浮世絵	鑑賞	渡邊晃／構成解説		国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
幕間のひととき33 お杉とお玉	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第二九五回歌舞伎公演解説書	平成27・10	日本芸術文化振興会
五十三年ぶりの通し上演 [平成27・10国立劇場]	劇評	水落潔		演劇界	平成27・12	演劇出版社
「節目の年」の歌舞伎 [平成27・10国立劇場]	劇評	犬丸治		歌舞伎 研究と批評	57	平成28年9月 歌舞伎学会
配役に新鮮味 [平成29・4歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成29・6	演劇出版社
二年ぶり夏芝居 [令和3・7大阪大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	令和3・9	演劇出版社